

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年11月12日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月12日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って御説明をいたします。

まず、11月16日の（2）、第1014回審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は、高浜の1・2号機の使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更という案件があるようなのですが、それについての設置変更許可ということです。4月15日の会合のコメント回答ということになります。

議題の2つ目が、大飯の3・4号機の火災感知器のバックフィットの案件についての設工認です。これは8月26日の会合のコメント回答ということになります。

次が、11月18日の（5）、第1015回審査会合です。

議題は3つありまして、大飯の3・4号機の緊急時制御室の有毒ガス防護などの案件についての設工認と保安規定というのが1つ。これが9月8日に申請されまして、今回初会合ということです。

2つ目が、女川の新規制基準適合についての設工認ということです。

3つ目が、東北電力の東通について、地震、津波の側がある程度進んできましたので、プラント側の準備状況を聞くというのが3件目ということのようです。

次が、2ページ目の一番下「4. 要人面談」とあるところの（1）、11月18日に長官が原子力発電関係道県議会議長協議会会長、鹿児島県議会の議長と面談をしまして、原子力発電の安全確保について要請を受けるということになります。

これは毎年春と秋に定例的に行われているものということのようです。面談の冒頭のみ取材可能としております。

次、3ページ目の「その他」のところ。11月19日にIAEAのALPSに関するレビューの事前会合というのがあります。これはIAEAの関係者が来日する機会に合わせまして、今後のレビューの進め方などについて伴委員と意見交換を行うものです。

IAEAの関係者は、これより前に1Fの現地に行って、東電とかあるいは経産省とも意見交換すると聞いています。取材対応は特になしということでありまして。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—